

第1号様式

SDGs宣言書

墨田区長様

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

＜宣言日・変更日＞令和7年3月14日

企業・団体名：リリーフ
代表者 役職：代表取締役
氏名：平野 裕也
記

事業者・団体等としての2030年までのあるべき姿	性別や年齢に関係なく働きやすい環境を構築する「働き方革命」や持続可能な経済活動の推進、従業員の健康促進・改善に積極的に努めています。 また、自然環境の保護にも力を入れており、海洋や森林の保全活動を通じて、未来の世代に豊かな地球を引き継ぐための取り組みを強化しています。これらの活動を通じ、持続可能な社会づくりに貢献していきます。										
・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）											
				☒				☒			
☒		☒									
		☒		☒							
・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。											
地域の伝統や文化を大切にしながら、牛乳・乳製品消費の拡大、地産地消の促進を通じて、地域経済の活性化に貢献しています。 地元の食材を積極的に購入したり消費意識を高める運動をしたりすることで、地域の活性化に寄与しています。											
SDGs達成に向けた特徴的な活動	地方のバザーなどに参加し、フードドライブ活動に参加 地域のイベントや学校、公共広場に行き、食品を集め、必要な人々に寄付をする取り組みを行っています。例えば、賞味期限が近い食品や家庭で余った食料を目指し、ボランティア団体が認識層や支援が必要な家庭にお届けします。この活動は、食品ロス削減に貢献し、地域社会への支援にも繋がります。また、参加者はフードドライブを大切に、食品の有効活用と地域貢献の重要性を再認識します。										
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	プラスチックや食べ物のごみを0にする。 プラスチックや生ごみをゼロにするためには、一番使い捨てのプラスチック製品を避け、エコバックやマイボトルを活用します。また、リサイクルを徹底的に、代替素材（紙や布）を選びます。生ごみはコンポストで堆積し、家庭菜園に利用することで循環する社会を実現します。食品ロスを減らすために計画的な食材購入を心掛け、食べ残しを減らします。										
業 種	金融・保険業										
事業所数（本社が提出する場合のみ）	事業所										
従業員（構成員）数	20 名（うち外国人 1 名）										
所 在 地	〒168-0081 東京都杉並区宮前1-19-2										
U R L	https://relief-cash.jp/										